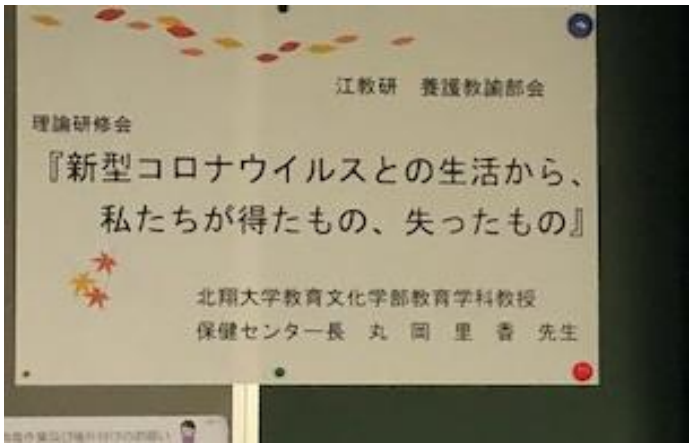
ブロック名（　江別ブロック　）

令和2年度

<table>
<tr><td rowspan="4">理論研</td><td>テーマ</td><td colspan="3">『新型コロナウイルスとの生活から、私たちが得たもの、失ったもの』</td></tr>
<tr><td>講師名</td><td colspan="3">北翔大学教育文化学部教育学科教授　保健センター長　丸岡　里香　先生</td></tr>
<tr><td>実施日</td><td>2020年11月20日（金）</td><td>場所</td><td>野幌公民館</td></tr>
<tr><td>内容・成果</td><td colspan="3">丸岡先生より、北翔大学保健センターで行っている新型コロナウイルス感染症対策についての貴重なお話を聞くことができた。
保健センターでは、新型コロナウイルス感染症の流行が始まった2～3月に、マスクや手指消毒アルコールなどの残量の確認、新たなマスク・アルコールの発注、消毒方法の模索等の対応を行った。4～5月には、使用教室の選択、アルコールの確保、マスクの配付、感染疑い学生からの連絡対応などを行い、6～9月には、教職員・学生の健康診断の実施、アルコールの設置、ポンプ型石鹸やペーパータオルの設置等を行った。10月から現在にかけては、感染疑い学生への対応、アルコールの補充、講義時の消毒グッズの補充、感染疑い時の欠席の処理と対応フローチャートの作成等を行っている。
また、私たちが新型コロナウイルスについて普段から疑問に思っていることについて質問し、丸岡先生にお答えいただいたり、大学で作成したマニュアル（消毒方法・体調管理用・体調不良時・感染が心配で講義が受けられない時等）についてご提示いただいた。
今年度から江別ブロックでは、様々な健康課題の中から3つのテーマを決め、グループに分かれて研究を進めている。テーマの1つである『感染症グループ』では、北翔大学で作成されたマニュアルを参考に、『感染症を疑う場合の対応フローチャート』を作成し、検討を行っている。ブロック内でも、タイムリーな内容で大変勉強になったという意見が多く、学びを深めることができたと感じる。今回の学びを学校での感染症対策や、研究に活かしていきたい。</td></tr>
</table>